

第 8 期 事 業 報 告 書

平 成 3 0 年 度

平成30年 4月 1日から

平成31年 3月31日まで

公益財団法人 日 本 腎 臓 財 団
東京都文京区後楽2丁目1番11号

目 次

I	事業の状況	P. 1
II	処務の状況	P. 8

I 事業の状況

1. 概況

- (1) 経済界、医業界の理解と関係諸学会、諸団体および一般の方々の協力を得て、総額122,301,602円の募金を行った。
- (2) 前年度に引き続き、賛助会員の増強に努めた。
- (3) 研究機関・研究グループの研究調査に対する助成、学会・研究会に対する助成、公募助成、透析療法従事職員研修、褒賞、雑誌発行などの事業は順調に遂行され、事業費は総額199,935,210円を支出した。
- (4) 透析療法従事職員研修について、集中講義及び実習研修を行った。
- (5) 日本腎臓財団各賞の表彰を行い、受賞者座談会記録を作成した。
- (6) 腎不全医療関係者に対して公募助成を行った。
- (7) 平成30年10月、厚生労働省、京都府などが行った臓器移植普及推進月間行事に主催として協力した。
- (8) 雑誌「腎臓」VOL. 41を発行した。
- (9) 雑誌「腎不全を生きる」VOL. 58、VOL. 59を発行した。
- (10) 「CKD対策推進のための市民公開セミナー」を東京及び神戸で開催した。
- (11) 内閣府へ変更認定申請を行い、新規事業として「腎臓に関する調査研究事業」を追加した。
- (12) これまで公1、公2、共通としていた公益目的事業区分を1つに統合した。
- (13) 総事業費支出に対する助成金支出率は49.4%である。
期末基本財産は950,518,500円である。

2. 募金状況

経済界、医業界、関係諸学会、諸団体および一般の方々の協力を得て総額122,301,602円の募金を行った。

3. 賛助会員

- (1) 平成31年3月末の会員数は837会員（985口）である。
内訳は次の通りである。
 - 1) 団体A会員 医療法人又はその他の法人及び公的・準公的施設（1口50,000円）

特別会員 a（10口以上）	1会員（10口）
特別会員 b（5～9口）	4会員（21口）
一般会員（1～4口）	632会員（673口）
 - 2) 団体B会員 法人組織でない医療施設、医局又は団体（1口25,000円）

一般会員（1～4口）	54会員（59口）
------------	-----------
 - 3) 個人会員 個人（1口10,000円）

特別会員 a（10口以上）	4会員（40口）
特別会員 b（5～9口）	5会員（25口）
一般会員（1～4口）	137会員（157口）

(2) 平成30年4月～平成31年3月末の入会者は次の通りである。

1) 団体A会員 6会員(7口) (敬称略・順不同)

一般会員 (1～4口)

東京・医療法人社団 つばさ つばさクリニック

東京・医療法人社団 大慈会 慈秀病院

埼玉・医療法人 さくら さくら記念病院 (団体B会員から変更)

埼玉・医療法人 さくら 鶴瀬腎クリニック (団体B会員から変更)

岡山・医療法人 伸和 川井クリニック (団体B会員から変更)

鹿児島・社会医療法人 白光会 白石病院

2) 団体B会員 3会員(4口) (敬称略・順不同)

東京・武蔵野赤十字病院 腎臓内科

千葉・千葉大学大学院医学研究院 腎臓内科学

千葉・帝京大学ちば総合医療センター 腎臓内科

3) 個人会員 9会員(9口) (敬称略・順不同)

一般会員 (1～4口)

東京・船山 いずみ

東京・新田 孝作

東京・土淵 治樹

千葉・岩倉 芳倫

兵庫・BEE GEK HUAY

愛媛・藤本 利男

福岡・古城 眞由美

熊本・錦戸 章

熊本・平田 純生

4) 平成30年7月に発生した「平成30年7月豪雨」のため、災害救助法適用地域の賛助会員に対しては平成30年度の賛助会費を免除した。

4. 研究・学会・支援助成事業

腎臓に関する学会開催・運営、及び腎臓に関する研究会など研究団体が実施する研究・調査活動等を支援するための助成。

助成審査委員会において各案件ごとに審査の上、次の研究機関、研究グループ、研究課題および研究会、学会に対して63,189,800円の助成を行った。

(1) 研究助成 (敬称略)	8 案件	49,175,000円
1) 腎疾患の発症・病態生理と進展防止に関する研究会 東京女子医科大学 腎臓内科学・新田 孝作		19,475,000円
2) 腎不全研究会 東海大学医学部 腎内分泌代謝内科・深川 雅史		500,000円
3) 城東地域の腎臓病の病態と治療研究会 医療法人社団 靱生会 メディカルプラザ篠崎駅西口・ 佐中 孜		1,000,000円
4) 腎代替療法研究会 聖路加国際病院 腎臓内科・中山 昌明		3,500,000円
5) 腎泌尿器癌研究会 東京女子医科大学 泌尿器科学・田邊 一成		20,200,000円
6) 日欧米心臓血管外科研究交流会 京都大学大学院医学研究科 器官外科学講座心臓血管外科・ 湊谷 謙司		3,000,000円
7) 電解水透析研究会 聖路加国際病院 腎臓内科・中山 昌明		1,000,000円
8) 兵庫慢性腎臓病対策研究会 兵庫医科大学 内科学 腎透析科・倉賀野 隆裕		500,000円
(2) 学会助成 (敬称略)	8 案件	14,014,800 円
1) 日本腎不全外科研究会 (第27回) 医療法人仁楡会 仁楡会病院・前野 七門		494,000円
2) 日本サイコネフロロジー研究会 (第29回) 医療法人社団 前田記念会・前田 国見		8,844,000円
3) 日本腎不全看護学会学術集会・総会 (第21回) 医療法人 鈴木泌尿器科・赤津 サトミ		1,761,800円
4) 日本腎不全看護学会学術集会・総会 (第22回) (医) 徳洲会 札幌東徳洲会病院・定本 高子		47,000円
5) 日本HDF研究会学術集会・総会 (第24回) 埼玉医科大学総合医療センター 血液浄化センター・小川 智也		997,000円

- 6) 日本老年泌尿器科学会
 (第32回) 旭川医科大学 腎泌尿器外科学講座・柿崎 秀宏 456,000円
- 7) 日本消化器外科学会総会
 (第74回) 東京慈恵会医科大学外科学講座 消化器外科・矢永 勝彦 1,330,000円
- 8) 日本小児感染症学会総会・学術集会
 (第51回) 旭川医科大学 小児科学講座・東 寛 85,000円

5. 公募助成事業

腎臓に関する研究と腎不全医療の発展を支援し、腎疾患の予防、腎疾患患者のQOL向上を図るため、腎不全病態研究助成として、「腎性貧血」「腎性骨症」に対する研究助成。

平成30年11月9日、浜松町 東京會館に於いて開催した選考委員会にて、平成30年度対象者下記32名に対して28,250,000円の助成が決定した。

(敬称略)

1. 慶應義塾大学医学部腎臓内分泌代謝科 徳山 博文
2. 東京慈恵会医科大学 再生医学研究部 藤本 俊成
3. 東京大学大学院医学系研究科CKD病態生理学講座 井上 剛
4. 獨協医科大学日光医療センター リハビリテーション部 山越 聖子
5. 京都府立医科大学大学院医学研究科 小児科学 西田 眞佐志
6. 熊本大学 薬学部 薬剤学分野 丸山 徹
7. 自治医科大学医学部総合医学第1講座(腎臓内科) 大河原 晋
8. 北里大学医学部衛生学 堀口 兵剛
9. 国立病院機構京都医療センター 臨床研究センター 和田 啓道
10. 新潟県立新発田病院 笠井 昭男
11. 虎の門病院分院 腎センター内科 山内 真之
12. つくばセントラル病院・腎臓内科 楊川 堯基
13. 滋賀県立大学・人間文化学部・生活栄養学科臨床栄養学教室 辰巳 佐和子
14. 大阪大学大学院医学系研究科 腎臓内科学 松井 功
15. 九州大学病院 腎・高血圧・脳血管内科 山田 俊輔
16. 徳島大学大学院医歯薬学研究部 分子栄養学分野 瀬川 博子
17. 昭和大学横浜市北部病院 内科 加藤 憲
18. 横浜市立大学・生命医科学研究科 片岡 浩介
19. 昭和大学医学部内科学講座腎臓内科学部門 溝渕 正英
20. 昭和大学歯学部口腔生化学講座 笹 清人
21. 大分県立看護科学大学 看護学部 人間科学講座 岩崎 香子
22. 東海大学医学部内科学系 腎内分泌代謝内科 金井 厳太
23. 和歌山県立医科大学 腎臓内科学講座 大矢 昌樹

24. 浜松医科大学 内科学第一 永田 総一郎
25. 川田じゅんこクリニック 川田 泰伸
26. 自治医科大学附属さいたま医療センター内分泌代謝科 山田 穂高
27. 藤田保健衛生大学医学部腎内科 古志 衣里
28. 自治医科大学・内科学講座・腎臓内科学部門 前嶋 明人
29. 東海大学医学部移植外科学 中村 道郎
30. 長岡赤十字病院 腎臓内科 井口 昭
31. 国立病院機構 大阪南医療センター腎臓内科 飯尾 健一郎
32. 虎の門病院 リウマチ膠原病科 星野 純一

6. 調査研究事業

腎疾患患者さんの治療の向上と普及を図るため、腎臓に関する調査研究として、J-DOPPS第7期調査（日本における血液透析の治療方法と患者の予後についての調査）の実施。

(1) J-DOPPS

1) 第7期調査研究開始までの準備として、内閣府へ新規事業追加のための変更認定申請、ステアリング委員選任、業務委託会社（CRO）選定、研究計画書作成、研究参加施設の倫理委員会への申請、研究体制変更説明のための施設訪問（48施設）、契約書作成などを行なった。

2) 事前準備会議

平成30年8月15日、JAビルカンファレンスにて事前準備会議を開催し、財団におけるJ-DOPPSの位置づけ、規程、ステアリング委員長選任、全体の体制について話し合った。

また、平成30年9月28日、11月6日、平成31年2月4日にSC委員会メール会議を実施し、中央倫理委員会申請先、ワーキンググループの名称・メンバー及び日本透析医学会のDOPPSシンポジウムについて確認した。

3) 平成30年11月23日、WTCコンファレンスセンターにてスポンサー会議を開催し、契約体制の説明、学会・研究会の共催について話し合った。

7. 透析療法従事職員研修事業

透析に携わる医療従事者の透析医療の基礎的な知識と技術の向上を目指すため研修の実施。

(1) 平成30年7月7日、8日大宮ソニックシティに於いて、医師、看護師、准看護師、臨床工学技士、臨床検査技師、衛生検査技師、管理栄養士、栄養士、薬剤師を対象に集中講義を行い、引き続き全国185の実施指定施設に於いて、医師は35時間（1週間）、看護師、准看護師、臨床工学技士は透析経験年数により70～140時間（2～4週間）の実習を行った。受講者総数は1,251名、そのうち実習者264名に対し、修了証書を交付した。

(2) 透析療法従事職員研修運営委員会

平成30年11月1日、浜松町 東京會館に於いて透析療法従事職員研修運営委員会を開催し、平成30年度の反省と平成31年度の企画立案を行った。

8. 褒賞事業

腎臓学の研究に関する注目すべき業績に対する褒賞。

- (1) 平成30年11月22日、浜松町 東京會館に於いて褒賞選考委員会を開催し、平成31年度日本腎臓財団賞・学術賞の受賞者選考を行い、次の4名の表彰を決定した。

(敬称略)

日本腎臓財団賞	猿田享男	(慶應義塾大学 名誉教授)
学術賞	清水章	(日本医科大学 解析人体病理学・大学院教授)
学術賞	成田一衛	(新潟大学大学院 歯学総合研究科 腎・膠原病内科学 教授)
学術賞	新田孝作	(東京女子医科大学 腎臓内科学 教授)

また、功労賞は次の1名の表彰を決定した。

(敬称略)

功 勞 賞	市川和子	(川崎医療福祉大学 医療技術学部 臨床栄養学科 特任准教授)
-------	------	-----------------------------------

平成31年2月22日、浜松町 東京會館に於いて平成31年度日本腎臓財団賞、学術賞、功労賞の表彰を行った。

- (2) 平成30年8月9日、浜松町 東京會館に於いて平成30年度日本腎臓財団賞・学術賞・功労賞の受賞者座談会を開催し、座談会記録を雑誌「腎臓」VOL. 41に収録した。

9. 雑誌発行事業

(1) 雑誌「腎臓」

腎臓に関する医療者を対象として治療・研究などの情報掲載した雑誌の発行。

- 1) 雑誌「腎臓」VOL. 41を3,500部発行し、関連医療施設に無償で配布した。
- 2) 平成30年8月3日、浜松町 東京會館に於いて編集委員会を開催し、VOL. 41及び今後の企画について話し合った。

(2) 雑誌「腎不全を生きる」

透析患者さん・およびご家族の方々を対象に腎臓病に関する知識や情報、栄養・食事・クスリ・合併症のことなど、日々の生活に役立つ雑誌の発行。

- 1) 雑誌「腎不全を生きる」VOL. 58を43,500部、VOL. 59を42,500部発行し、関連医療施設に無償で配布した。

- 2) 平成30年4月19日、浜松町 東京會館に於いて編集委員会を開催し、VOL. 58、59及び今後の企画について話し合った。
- 3) 平成30年6月29日、神戸ポートピアホテルに於いて編集委員会を開催し、VOL. 60について話し合った。

10. CKD（慢性腎臓病）対策推進事業

CKDの正しい知識と予防の大切さを一般の方に広く知っていただき、CKD予防の促進を図るための事業。

(1) CKDセミナー in 東京

平成31年2月2日、有楽町朝日ホールに於いて、『CKDセミナー in 東京「えっ！？8人に1人が・・・あなたも慢性腎臓病（CKD）の予備群かもしれません。」』と題し、920名の参加を得て慢性腎臓病（CKD）についてのセミナーを開催した。後日、朝日新聞全国版朝刊土曜別刷「be」、朝日新聞デジタルに記事を掲載した。

(2) CKDセミナー in 神戸

平成31年2月24日、ホテルオークラ神戸に於いて、『CKDセミナー in 神戸「えっ！？8人に1人が・・・あなたも慢性腎臓病（CKD）の予備群かもしれません。」』と題し、704名の参加を得て慢性腎臓病（CKD）についてのセミナーを開催した。後日、朝日新聞全国版朝刊土曜別刷「be」、朝日新聞デジタルに記事を掲載した。

(3) 冊子作成

慢性腎臓病（CKD）予防の大切さを一般の方に広くご理解いただくための冊子「CKDをご存じですか？～腎臓を護ることは命を守ることです」を20,000部作成した。

11. 臓器移植普及推進月間活動に対する協力

移植医療について広く一般にご理解いただき、腎臓移植を推進するための協力。

平成30年10月、臓器移植普及推進月間の諸行事、及び10月7日、同志社大学 寒梅館で開かれた第20回臓器移植推進国民大会に厚生労働省、京都府、日本臓器移植ネットワークと共に主催として協力した。

Ⅱ 処 務 の 状 況

1. 役員に関する事項

(1) 役員

平成30年5月10日現在（50音順）

会 長	高 部 豊 彦	日本電信電話株式会社顧問
理 事 長	浅 野 泰	自治医科大学名誉教授
理 事	相 京 重 信	元SMB C日興証券株式会社社長、橋本総業株式会社 社外取締役
理 事	秋 澤 忠 男	昭和大学医学部内科学講座腎臓内科学部門客員教授
理 事	秋 田 瑞 枝	弁護士、ひのき総合法律事務所
理 事	内 山 英 世	公認会計士、朝日税理士法人顧問
理 事	中 川 隆 進	元日本銀行政策委員会政策委員
理 事	菱 田 明	浜松医科大学名誉教授
理 事	平 方 秀 樹	医療法人医心会福岡腎臓内科クリニック理事長
理 事	前 波 輝 彦	医療法人あさお会あさおクリニック理事長
理 事	水 附 裕 子	一般社団法人日本腎不全看護学会評議員
理 事	御手洗 哲 也	埼玉医科大学名誉教授
監 事	椿 慎 美	公認会計士、椿公認会計士事務所
監 事	原 茂 子	原プレスセンタークリニック院長

(2) 役員会

開催年月日・場所	議案	議事結果
第20回理事会 平成30年5月10日 浜松町東京會館 (東京都港区浜松町 2丁目4番1号)	1. 平成29年度(自平成29年4月1日から至平成30年3月31日)事業報告・決算報告承認の件	原案どおり満場一致で可決
	2. 評議員会の日時、場所及び目的である事項等の件	原案どおり満場一致で可決
	3. 新事業J-DOPPSについて	原案どおり満場一致で可決
	4. 顧問選任の件	原案どおり満場一致で可決
第21回理事会 平成30年8月24日	1. 定款 一部改訂承認の件	書面表決により 全員一致で可決
	2. J-DOPPS委員会規程 承認の件	書面表決により 全員一致で可決
	3. 第17回評議員会の招集の件	書面表決により 全員一致で可決
第22回理事会 平成31年2月22日 浜松町東京會館 (東京都港区浜松町 2丁目4番1号)	1. 公益目的事業会計区分変更の件	原案どおり満場一致で可決
	2. 2019年度(自2019年4月1日から至2020年3月31日)事業計画・正味財産増減予算書の件	原案どおり満場一致で可決
	3. 定款 一部改訂の件	原案どおり満場一致で可決
	4. 評議員会の日時、場所及び目的である事項等の件	原案どおり満場一致で可決
	5. J-DOPPS人を対象とする医学系研究実施に係る手順書、J-DOPPS調整委員会規程、J-DOPPS委員会規程の件	原案どおり満場一致で可決
	6. 一般寄付金 使途の件	原案どおり満場一致で可決

2. 評議員に関する事項

(1) 評議員

平成30年6月1日現在（50音順）

氏名	勤務地
安藤 亮一	武蔵野赤十字病院副院長
五十嵐 隆	国立研究開発法人国立成育医療研究センター理事長
伊丹 儀友	医療法人友秀会伊丹腎クリニック理事長
伊藤 貞嘉	東北大学大学院医学系研究科内科病態学講座 腎・高血圧・内分泌学分野教授
上田 善彦	獨協医科大学越谷病院病理診断科教授
大石 義英	東亜大学医療学部医療工学科教授
衣笠 えり子	昭和大学横浜市北部病院内科客員教授
小林 修三	医療法人沖縄徳洲会湘南鎌倉総合病院院長代行
小林 美奈	弁護士、古賀総合法律事務所
中原 宣子	公益財団法人浅香山病院透析センター顧問
成田 一衛	新潟大学大学院医歯学総合研究科生体機能調節医学専攻教授
西 慎一	神戸大学大学院医学研究科腎・免疫内科学分野 腎臓内科学部門教授
西沢 邦浩	日経BP社日経BP総研メディカル・ヘルスラボプロデューサー
新田 孝作	東京女子医科大学第四内科学教授
長谷川 芳樹	弁護士、創英国際特許法律事務所所長
平田 純生	熊本大学薬学部附属育薬フロンティアセンター長・ 臨床薬理学分野教授
八木澤 隆	自治医科大学腎泌尿器外科学講座腎臓外科学部門教授
山本 裕康	学校法人慈恵大学参事

(2) 評議員会

開催年月日・場所	議 案	議 事 結 果
第16回評議員会 平成30年6月1日 浜松町東京會館 (東京都港区浜松町 2丁目4番1号)	1. 平成29年度(自平成29年 4月1日から至平成30年3月 31日)事業報告・決算報告承認の 件	原案どおり満場 一致で可決
	2. 監事選任の件	原案どおり満場 一致で可決
	3. 新事業J-DOPPSについて	原案どおり満場 一致で可決
第17回評議員会 平成30年9月5日	1. 定款 一部改訂承認の件	書面表決により 全員一致で可決
第18回評議員会 平成31年2月22日 浜松町東京會館 (東京都港区浜松町 2丁目4番1号)	1. 公益目的事業会計区分変更の件	原案どおり満場 一致で可決
	2. 2019年度(自2019年 4月1日から至2020年3月 31日)事業計画・正味財産増減予 算書の件	原案どおり満場 一致で可決
	3. 定款 一部改訂の件	原案どおり満場 一致で可決

3. 許可・認可に関する事項

平成31年2月5日、内閣府より従前の公益目的事業（1）及び（2）を統合して公益目的事業（1）とし、「腎臓に関する調査研究事業」を追加することについて認定を受けた。

4. 契約に関する事項

該当事項なし

5. 登記に関する事項

平成30年6月28日、監事の退任・就任について登記を行った。

平成31年2月7日、事業に関する事項について定款変更登記を行った。

6. 行政庁指示に関する事項

該当事項なし

7. その他特記事項

該当事項なし

以上

平成30年度事業報告附属明細書

平成30年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。